

うらほろ

2020
7
No.645



JAうらほろ第45回通常総会

第45回通常総会

全議案承認

JAうらはる
6月5日、午前9時30分より農業会館大会議室にて第45回通常総会が開催されました。

本総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、特に組合員皆様の健康被害回避・安全確保を第一に捉え、書面議決を中心とした審議となりました。

出席状況は、正組合員269名中、本人出席12名、代理議決数1名、書面議決数199名、合計212名の正組合員出席のもと開会が宣言されました。



挨拶する林組合長

頂くことができました。これも偏り組合員皆様の不断の営農努力の積み重ねの結果であり、また関係機関のご指導・ご支援の賜物と敬意と感謝を申し上げる」と開会挨拶を行いました。

議長は、高木専務理事が務め議事に入りました。

議事では、令和2年度事業計画の設定など全6議案を審議し全て原案通り可決されました。本年は異例の老朽化した整備工場の事務所改修工事などを行いました。その他消耗が著しい施設や周辺整備など計画に基づき設備投資を行い、固定資産は13億3千3百万円（前年比105.3%）となりました。自己資本比率は前年比0.15ポイント増加し、23.19%、固定比率は前年比21.2ポイント減少の24.4・3%となりましたが、引き続き政令基準を上回る健全な財務状態を確保することができました。

林組合長より「大きな気象災害を回避出来たことと併せ畑作物全般にわたり豊作基調であつたこと、酪農畜産部門においても生乳及び個体販売の価格下支えもあり農畜産物全体の取扱高は、115億5千5百万円の史上最高となり、当期末処分剰余金は1億8千9百万円を確保させて

出資増口により出資総額は11億2千4百万円（前年比102.4%）、純資産は28億7千9百万円（前年比103.8%）となりました。

施設整備では、小麦乾燥調整施設の荷受能力増強工事や労働力軽減のためのパレタイザーシステムの導入、老朽化した整備工場の事務所改修工事などを行いました。その他消耗が著しい施設や周辺整備など計画に基づき設備投資を行い、固定資産は13億3千3百万円（前年比105.3%）となりました。自己資本比率は前年比0.15ポイント増加し、23.19%、固定比率は前年比21.2ポイント減少の24.4・3%となりましたが、引き続き政令基準を上回る健全な財務状態を確保することができました。

総務事業

○令和元年度事業のまとめ

総会の形となりましたが皆様のご協力の下、無事終了致しました。

千8百万円増の28億5千1百万円となり、貸出金合計では前年比8千万円増の31億1百万円となりました。

貯金 び窓口、涉外担当者を中心に推進に取り組んだ結果、総貯金残高は182億1千6百万円（前年比4億6千8百万円増）となりました。

うち、当座性貯金は60億5千9百万円、定期性貯金は121億5千7百万円となりました。

共済事業

長期共済は満期到来等により期末保有高（保障金額）は341億2千8百万円（前年比97.1%）となりました。

購買事業

肥料は施肥作業省力化・コスト低減と効率的な施肥体系の提案推進に取り組み、取扱高は前年対比105.1%、農薬は防除技術の適期発信と早期予約取りまとめ

7%、飼料では、外国為替相場が円高で推移し、主原料価格が前年と比較して値下げとなつたことから配合飼料価格は値下がり傾向で推移し、同99.0%となりました。

信用事業

融資 貸出金は手形貸付金が、前年比4千4百万円増の2億4千7百万円、証書貸付金で前年比3

千99.0%となりました。



議長を務めた高木専務

その他の生産資材は、各種資材の取りまとめと展示会の実施、停電対策機材の需要により108・9%となり、総体取扱高は25億8千7百万円（前年比103・3%）となりました。

農機整備 農機具は、トラクターなど大型機械の取扱が昨年並みに確保できたことにより前年比99・9%、車両では、新車及び中古トラックの入替更新が減少し、同86・5%となりました。修理資材は、車検修理部品が増加し、同103・6%、年間取扱台数では車検・一般整備で増加したものの、農機具で減少し同93・5%、車両整備事業の総体取扱高は、8億9百万円（前年比99・3%）となりました。

農産 小麦は、前年秋の播種作業が順調に行われ、越冬前の積算気温も高く、過繁茂傾向となりました。出穂期までの生育は気温も高く平年より5日から7日早く推移しましたが、その後の開花期頃から気温は平年並みとなり、登熟もやや緩慢になり成熟期も平年並みで収穫を迎え、10aあたり収量663kg（前年比138%）の全量1等Aランクでした。

豆類は大豆が10aあたり収量217kg（前年比80%の面積）、小豆が同収量258kg（前年比122%）、金時が同収量144kg（前年比17

り）、手亡が同収量252kg（前年比139%）となりました。

馬鈴薯 馬鈴薯は萌芽期・着蕾期・開花期が平年より早く推移し、終花期についても4日早くなりました。澱粉原料用品種では、4,068kg/10a（前年比124%）、ライマン価は前年より0・97%低い20・25%でした。てん菜は、播種・定植作業は順調に進み大きな気象災害もなく生育は進み、病害虫の発生も非常に少なく根部の肥大は順調で収量は6,322kg/10a（前年比112%）、糖分は前年を下回る16・7%でした。

販売事業 作物全体を通して、豆類の一部品種で低収となりましたが、その他の品目で平年を上回る収量と品質を確保できることから10a当たりの精算額も大幅な増加となり、総支払高3億7千2百万円、畑作物の経営所得安定対策の数量払いと合わせて53億円（前年比117・2%）の取扱となりました。

畜農サポート 春耕期は、天候に恵まました。6月の1番牧草収穫作業は、天候不良を避けるため収穫開始日を6月10日に早めたことと、干ばつの影響も受けたために収量は15%減収となりました。また、秋期作業では全般的に天候に恵まれて順調な施行・

燃料 前年の燃料価格高騰から一転、廉価販売店との価格競争の影響により油類取扱高は、ガソリン・前年比96・3%、軽油・同95・1%、灯油・同99・7%、重油・同91・6%となり、総体取扱高は7億9千1百万円（前年比96・1%）となりました。また、油類取扱量ではガソリン・前年比101・1%、軽油・同105%、灯油・同100・8%、重油・同101・3%と全ての油類で前年を上回る結果となり、総取扱量は8,617kl（前年比105・3%）となりました。

畜産 酪農振興対策においては、良質乳生産体制の維持・強化を図るために、酪農体質強化対策事業を実施し、生乳増産対策では、直近3力年平均乳量より17戸で1,138tの増産となりました。良質乳生産対策では、集荷前検査による抗生素残留事故の防止（無事故日数1000日以上継続中）、乳温遠隔監視システムの活用やバルククレーラーの全戸点検、ミルカーポイント検査に取り組みました。バルク乳の生菌数1・5万/ml未満の割合は95・2%、体細胞数30・5万/ml未満の割合は87・6%でともに十勝平均を下回る結果となりました。

肉牛振興対策 では、優良繁殖雌牛の維持・増頭と改良を図るために、肉牛生産基盤強化対策事業により、導入36頭、保留83頭、更新84頭が事業対象となり、33頭の増頭となりました。また、肥育素牛の導入・地域内一貫肥育についての事業対象は14頭の実績となりました。

畜産物の年間取扱高は、生乳と個体販売を含めた総取扱高は62億5千5百万円となりました。

○剩余金処分案

令和元年度の当期末処分剰余金は1億8千9百40万円、そのうち出資配当金として払込済出資金の0・5%相当の5百60万円、肥料・農薬・飼料などの利用に対する事業分量配当金に3千万円を充当、利益準備金・任意積立金の内部留保に約1億4千8百万円、次期繰越剰余金として580万円とすることで可決されました。

○令和2年度事業方針

本年度事業計画の各部門の重点実施項目として、農産事業では生産基盤の強化による生産性向上への取り組みのほか、地域ブランドの発信、販売先の見える契約栽培への取組強化や产地からの積極的な発信等により信頼性向上に取り組みます。畜産事業では、安心安全な良質乳生産の

6月15日（月）に幾千世牧場で馬の入牧が行われました。当日は天氣があまり良くなく、肌寒い日でしたが無事牧場に放され、馬たちは広い牧場の中ですぐに牧草を食べ、自由に歩き回っていました。退牧時期には一回りも二回りも大きくなつて生産者のもとへ帰つて行きます。

幾千世牧場馬入牧！

家畜車から降ろされた様子



ための取り組みや酪農家の労働負担軽減へ向けた施策、また肉牛生産振興対策では持続可能な安定経営の支援として各種の取り組みを実施致します。営農サポート事業では、多様化する生産支援ニーズに応えタイムリーな作業支援体制の整備・改善に努めます。購買部生産資材事業では、肥料・農薬の予約、早取りによる安定供給・コスト低減のための奨励策の実施等を通じて組合員満足度の向上に取り組みます。

当JAは農協活動を通じて地域社会への貢献にさらに邁進し、総合事業として広く農業の情報発信を行ない、地域の活性化に向け取り組みます。今後も組合員の目線に立ち、組合員の組織であることを基本に運営してまいりますので、皆様の一層の農業協事業への参画とご協力をお願い致します。



作業の様子

今年も昨年とほぼ同時期のスタートを切ることができ、7月1日現在で約770haの収穫を終えました。降雨による作業の中止はありました。収量については、干ばつの影響もあり全体で3割ほどの減少と

なりますが品質的に良好傾向にあります。今後、営農サポート課では2番牧草約200ha、デントコーン約460haの収穫を計画しております。



運搬の様子

一番牧草収穫作業開始

青年部活動（子ども農業体験）



全体の写真



スイートコーンを植える様子

6月10日、今年最初となる子ども農業体験学習を上浦幌中央小学校で開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、小学校側と協議した結果、密集を少しでも避けるため低学年に限定し、青年部の一部役員とスイートコーンを播種しました。作業前に青年部の田野雅人部長は「スイートコーンを育てていく過程をみんなで楽

しみながらやつていきましょう」と児童に話されました。児童

たちは、青年部盟友の説明を聞き

ながら、一生懸命植え付け作業を行ない、作業の合間に疑問に思つたことを盟友に質問している姿が

多く見られました。

今後は、管理作業や収穫作業を行なう予定です。

年部の一部役員とスイートコーンを播種しました。作業前に青年部の田野雅人部長は「スイートコーンを育てていく過程をみんなで楽しみながらやつていきましょう」と児童に話されました。児童たちは、青年部盟友の説明を聞きながら、一生懸命植え付け作業を行ない、作業の合間に疑問に思つたことを盟友に質問している姿が多く見られました。

今後は、管理作業や収穫作業を行なう予定です。

第3回 理事会
6月5日、役員室において理事会を開催し、議案6件について審議され、原案通り承認されました。

○議案

・役員報酬の支給について

・固定資産の取得について（營農サポート課 ジヨンディアトラクター）

・退職給与規程の一部改正について

・マネロンガイドラインに基づくギャップ分析について

・令和2年産共計品の設定について

・「新たな基本計画における農村振興の強化を求める要望意見書」の提出について

・「新たな基本計画における農村振興の強化を求める要望意見書」の提出について

第4回 理事会
6月17日、役員室において理事会を開催し、議案2件について審議され、原案通り承認されました。

○報告事項

- 個人情報取扱規程の一部改正及び個人情報保護に係る内部監査規程の廃止について
- 業務報告書の行政庁提出について

○報告事項

（総務部）

・個人情報保護に係る関連規程の一部改正について

・令和元年度決算監査に係る監事監査実施結果に基づく回答について

（信用課）

・固定資産の処分について（信用課公用車）

・固定資産の取得並びに処分について（農産課 デジタル水分計）（畜産課公用車）

・令和2年度作付面積作物別集計表（農取調査）について

・受託作業進捗状況について

・生乳生産動向について

（購買部）

・固定資産の取得について（燃料車両課 整備工場 ディーゼルスマートスター）

（燃料車両課 本所給油所 LED照明）

（燃料車両課 上浦幌給油所 ISU）

・店頭給油価格割引の実施について

（その他）

・内部監査報告について（5月）

○協議案

JAうらほろ役員研修視察について

- 令和元年度年間経営定期点検実施報告並びに要改善事項対応進捗状況について

JAグループ通信

JA北海道中央会



J Aグループ北海道では、4月中旬より中止しておりました「国産花き販売会」を、6月5日(金)より感染防止対策に十分配慮した上で、札幌市北農ビル(札幌市中央区北4条西1丁目1番地)で再開いたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントや式典の中止が相次いでおり、国内の花き需要は大幅に減少しています。そこで、JAグループ北海道では「花を贈って応援！みんなのよい花プロジェクト」と題して、「国産花き販売会」の実施により、国内の花き農家を応援しております。販売会は7月末までの毎週金曜日の開催を予定しております。

J Aグループ職員のみならず、花が好きな方や花き農家を応援してくださる方、JAグループ北海道を応援してくださる方など、たくさんのお客様にお越しいただいております。引き続き、是非ご自宅にお花を飾り、花き農家を応援しています。



JA北海道信連



令和元年度に、JAバンクの食農教育活動として、「親子で学ぼう！あぐりキッチン教室」を全道JAの協力を受け、開催しました。その開催目的は、子どもの農業に対する理解を深め、北海道農業やJA・JAバンクのサポーター層を拡大することになりました。

先ごろ、農協観光の優績JA表彰において、当活動が地域の交流・活性化に寄与したと認められ、地域交流部門の優秀賞を受賞しました。



©よりぞう

ホクレン



ホクレンは、北海道日本ハムファイターズと共に展開している「北海道農業応援プロジェクト」の一環として、同球団選手と道内生産者が交互にメッセージを送り合う「キャッチボールトーク」動画を制作、同プロジェクトの特設サイトに公開しました。登場しているのは、JA道青協の村田辰徳会長、JA道女性協の青山伸子会長ら生産者と、ファイターズの中島卓也、近藤健介両選手らそれぞれ5人ずつで、新型コロナウイルス対策や農作業、トレーニング内容などについて交互に語り、エールを交換し合いました。



JA共済連北海道



令和2年度に道内各市町村の消防本部へ寄贈する救急自動車が決定いたしました。救急自動車の寄贈は、地域社会貢献活動の一環として、昭和50年から毎年取り組んでおり、昨年度までに、延べ206台の救急自動車を道内各地の消防本部へ寄贈しております。

今年度は、上川北部消防事務組合消防本部中川消防支署（中川町）、網走地区消防組合消防本部大空消防署（大空町）、大雪消防組合消防本部美瑛消防署（美瑛町）の3か所となります。今後も行政とJAとの連携を図りながら、交通事故の防止と被害者救済への取り組みを強化してまいります。

JA北海道厚生連



新型コロナウイルスの影響で一時中止としておりました人間ドックですが、すべての病院・クリニックにて再開しました。

一部でご利用いただけないオプション検査もございますが、感染対策の徹底を図っておりますので、安心して受診くださいますようお願いします。



ホームページは
こちらです。
どうぞ
ご覧ください。



J Aグループ北海道の連合会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ！日本の農業



耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>

農業用廃プラスチック分別回収 ご協力のお願い

農業用廃プラスチックの正しい分別回収にご協力をお願い致します！

【分別方法】

○農ビ（ポリ塩化ビニール）

見分け方：・「農ビ」マークがある 

- ・切り口が透明で波が少ない
- ・燃えにくく、刺激臭がある
- ・柔らかくて伸びるもの

製品例：ハウス・トンネル用ビニール

○農ポリ（ポリエチレンフィルム、ポリプロピレンフィルム等）

見分け方：・「農PO」、「ノーポリ」マークがある



- ・切り口が波を打ち、白化
- ・良く燃える、ろうそくの様な臭い
- ・やや固くゴアゴアしている。

製品例：ブルーシート、肥料袋、育苗トレイ、ポット、牧草用ラップ、マルチ

※金属、石、泥、木片などの異物はしっかり除去をお願いします。

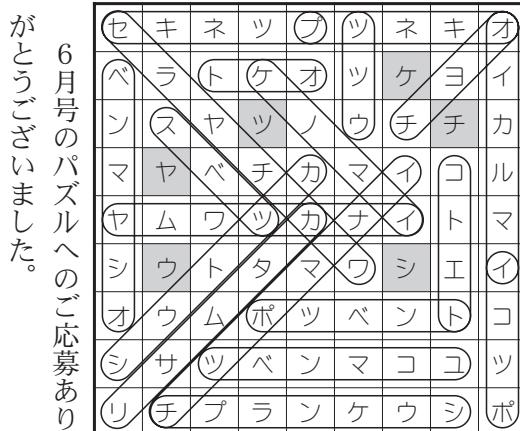
※不法投棄や野焼きは法律で禁止されています。5年以下の懲役か1千万円以下の罰金またはこの両方が科せられます。

農作業用廃プラスチック回収はフレコンバックにまとめていただきます
ようお願い致します。

新パズル(7月)

□解き方 NHKの朝ドラ100作目は十勝を舞台にした「なつぞら」でした。が、今回は朝ドラのタイトルを並べ集めてみました。まっすぐであれば、縦横斜めにどの方向から読んでもかまいません。その結果、何個か力ナガ残りますので、それらの力ナガを上から並べてできる朝ドラのタイトルを1つお答えください。

□応募要領 同封のハガキに答と住所・氏名(組合員の場合は世帯主名もご記入ください)を書き、窓口には投函箱を用意し、また、本・支所の貯金



がどうございました。

大島	森	芳川	江ノ上	藤四郎	乙美	秀	孝	季	之	造	行	住	万	豊	活	川	吉	年	北	平	上
下坂	彩葉	舞華	江ノ上	藤四郎	乙美	秀	孝	季	之	造	行	住	万	豊	活	川	吉	年	北	平	上



6月号の
答は
ANSWER
課の木村光咲希さんです。
ケツチャウシ(浦幌町)
でした

てありますのでご利用ください。
□締め切り 7月22日
(水)(当日消印有効)
中から抽選で5名の方

にエーコープ商品券を
差し上げます。
□発表 正解と当
選者は本紙8月号に掲
載します。

サ	レ	シ	ト	イ	ア	フ	ナ	ン
マ	バ	ク	ツ	ジ	コ	コ	ロ	シ
イ	タ	ツ	工	エ	ニ	ヨ	ボ	オ
オ	キ	オ	ハ	ナ	ハ	ン	ル	テ
ア	ガ	シ	ワ	カ	バ	ー	ン	ハ
ン	サ	ラ	ユ	チ	エ	ウ	ゾ	ネ
ブ	ア	ハ	イ	カ	ラ	サ	ン	コ
ン	ラ	ス	ズ	ラ	ン	リ	カ	ン
ハ	ナ	ノ	ミ	キ	ク	プ	ン	マ

あさが来た、いちばん星、エール、ええによば、おはなはん、おしん、かりん、君の名は、こころ、澪つくし、すずらん、ちゅらさん、つばさ、天うら、虹、ハイカラさん、はね駒、半分青い、春よ来い、ファイト、まんぱく、まれ、わかば

チリ硝石の規格変更について

日頃より購買事業推進につきましてご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、令和2肥料年度よりチリ硝石の取扱規格が変更となっておりますのでお知らせいたします。

【規格変更商品】
チリ硝石 → 【規格変更前】
25kg 【規格変更後】
20kg

なお、現在25kgの在庫がありますので、従来の25kg袋から先に供給させていただきますのでご了承ください。

牧草B B 3 6 3の原料変更について

1. 経過

- BB草363の原料として、塩安(粒)を使用しておりますが、令和2年2月に入り新型コロナウイルスの流行に伴い、原料用塩安の流通に支障をきたしております。
- 令和2年3月より、流通が再開されましたが、国内の需給が逼迫するため一部銘柄において塩安から硫安へ設計を変更し供給させていただきます。

2. 今後の取り進めについて

- 対象銘柄 BB草363(ホクレン肥料株式会社)
- 原料変更内容 塩安→硫安に変更
- 製造切替時期 令和2年4月製造より切替予定
- 塩安から硫安への設計変更に伴い、比重及び製品のかさが変わります。
※塩安銘柄は、BB363-3。硫安の銘柄は、BB363の記載となっております。

BB草363比重

変更前	変更後
粗 0.94	→ 0.99
密 1.04	1.10

※製品のかさが小さくなりますので、施肥量の調整をお願いします。





◎きれいに搾って素早く冷却
◎めざせランク1=体細胞数30万以下、生菌数1万以下

△乾乳期の管理について▼

分娩前に搾乳を中断し、乾乳期へと移行しますが。乾乳の目的は、搾乳により消耗した母牛の体の休息と、からだの中の子牛へ栄養補給です。

分娩までには大きなストレスがかかるため、きちんとした準備をしておかなければ、泌乳期の乳量にも影響が出てきます。また、乳房炎に罹りやすく、周産期病のおそれもありますので、しっかりとした飼養管理が必要となります。

搾乳牛と一緒に餌を食べさせると過肥になりやすくなり、第四位変位などの発症率が高まります。搾乳牛と一緒くたに食事をすると、盗食をしやすく、結果として過肥になりやすくなり、第四位変位などの発症率が高まります。乾乳期の牛は、生懸命栄養を摂取しようとします。そのためエネルギー過剰に陥り易くなります。乾乳期に太っている牛を急に痩せさせたり、逆に痩せている牛を太らせると言う事はせず、乾乳期前からの飼料給与に気を使い、食い止まりなどをしっかりと見ての管理が必要となります。

◎木クレン十勝家畜市場

・育成牛市場（6月3日）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
育成牛	0	-	-	-	437,523

・乳牛市場（6月11日）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
被件(ET除)	11	781,000	558,800	638,600	699,193
初妊牛(ET)	1	1,034,000	1,034,000	1,034,000	909,634
経産牛	0	-	-	-	404,091

次回市場 育成牛 7月2日（農協順：19）

乳牛 7月7日（農協順：9）

8月市場 育成牛 8月3日（農協順：2）

乳牛 8月27日（農協順：18）

・肉牛市場（6月16日～19日）

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
和牛素牛(去勢)	90	881,100	287,100	641,972	658,427
和牛素牛(雌)	58	786,500	402,600	563,655	566,538
繁殖雌牛	1	1,155,000	1,155,000	1,155,000	670,210
廃用牛	10	276,100	155,100	215,820	299,658
交雑牛(去勢)	0	-	-	-	406,850
交雑牛(雌)	84	353,100	271,700	308,576	423,558

次回市場 7月15・16日

（農協順 黒毛：6・交雑牛：6）

8月市場 8月18・21日

（農協順 黒毛：10・交雑牛：2）

◎木クレン十勝枝肉市場（6月市場平均）

	(単位: kg/円)			
	A-5	A-4	A-3	A-2 平均単価
和牛	1,962	1,596	1,393	1,281 1,704
	AB-5	AB-4	AB-3	AB-2 平均単価
交雑牛	-	-	-	- 800

次回市場 7月4日

8月市場 8月1日

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場

7月開催日

3日・7日・10日・14日・17日・21日・28日・31日

8月開催日

4日・7日・11日・18日・21日・25日・28日

◎畜産公社出荷日 7月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

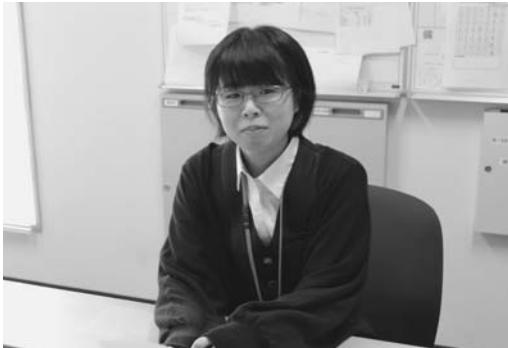
※乳代について(令和2年4月分より共販経費控除前の金額を使用しております)。

◎衛生的乳質検査結果(5月)

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3		
全道	14,711 (95.9)	596 (3.8)	24 (0.3)	12,295 (86.5)	5,113
十勝	3,199 (97.4)	80 (2.4)	3 (0.2)	2,835 (91.2)	1,095
浦幌町	131 (94.9)	5 (3.6)	2 (1.5)	111 (87.4)	46

上段は3旬計の件数・下段()は%

職員紹介



農産販売部 農産課

よし だ
吉 田つむぎ
紬

担当業務

経理業務を主に行なっております。

休日の過ごし方

「あつまれどうぶつの森」がブームで休日は夢中でやっています。

ひとこと

農産課に配属され3年が経過し、業務にも慣れてきましたが、今後もより一層頑張りますのでよろしくお願いします。

信用部側



総務部側



当JAでは6月16日（火）に正面玄関の両隣にある花壇に花を植えました。ベコニア、サルビア、メランボディウム、マリーゴールドの4種類の花が植えられ、明るい雰囲気になりました。気温の上昇と共に満開になり見頃を迎えますので来所の際は是非ご覧下さい。

「明るい雰囲気に」 JAの花壇に花

編集後記

緊急事態宣言が解除され、私たちも新北海道スタイル「アつの習慣化」に取り組み、その生活にも慣れてきたと思います。しかし、十勝でも新型コロナウィルスの感染者が出てきています。より一層気を引き締めて日々の生活を過ごしていくしかないといけません。

終わりになりますが、暑くなるにつれエアコンを使用する機会が増えますが、体調管理には十分に気をつけましょう。

7月のカレンダー

※ 行事日程は変更になる場合があります。

日	事 項
15	第3回監事会 監事監査（第1四半期）～16日
20	農業委員会総会
21	「ひまわり号」による献血
22	第8回企画会議
28	第5回理事会
30	東工連第50回通常総会